

# 宇都宮共和大学子ども生活学部・シティライフ学部 アドミッション・ポリシーと2022年度入試の概要

## 1. アドミッション・ポリシー

建学の精神である「**全人教育（人間形成の教育）**」に基づき、それぞれ次のようなアドミッション・ポリシーを定めています。

### 【子ども生活学部】

- ① 子どもが好きで、保育及び幼児教育者に必要とされる基礎学力を身に付けている学生
- ② 協調性に富み、コミュニケーション能力のある学生
- ③ 子どもの発達や保育・教育、子どもを取り巻く生活・社会環境に関心を持ち、関連する知識や技能を学びたいと考えている学生
- ④ 幼稚園、保育所、認定こども園、児童福祉施設等子どものための施設や保育者に関心を持ち、将来保育に関わる仕事をしたいと考えている学生
- ⑤ 子どもや大人を含めて人間が生活することに関心を持ち、生活に必要な知識と技能をもち、自分自身の生活を自立的に営むことができる学生

### 【シティライフ学部】

- ① 高等教育に備える基礎学力を身に付け、多様化し複雑化する社会や都市の課題に強い関心を持っている学生
- ② 自己実現のための強い意志と意欲を有し、そのための自己研鑽の努力と挑戦の気持ちを持続させられる学生
- ③ 将来、まちづくりなど幅広い分野で地域に貢献する職業に就くことを希望している学生
- ④ 協調性に富み、コミュニケーション能力のある学生

## 2. 2022年度入試の概要

総合型選抜、学校推薦型選抜（指定校制・公募制）、特待生入試、一般選抜Ⅰ期・Ⅱ期、共通テスト利用入試Ⅰ期・Ⅱ期などの多様な受験機会を設けています。

また、調査書等を主体性等の評価として合否判定に利用し（活動報告書は任意）、外部英語資格検定試験を一般選抜において加点方式で利用するなど、高大接続改革を積極的に取り入れ、受験生の高校時代の努力を評価しています。

さらに、本学は全人教育の理念のもと、学力だけに偏らない人間性豊かな**様々な能力**を持った学生を求めています。そのため、大学入学共通テスト利用入試以外の試験全てに面接を行います。

- (1) 総合型選抜のインターネット出願期間は、2021年9月15日（水）～2022年1月24日（月）。試験日を設定して実施します。本学ホームページより出願してください。
- (2) 学校推薦型選抜（指定校制）の出願資格は、全体の学習成績の状況（評定平均値）3.2以上の方で、人物・学業等について高等学校長の推薦を受けた方とします。また、2022年3月高等学校卒業見込みで、宇都宮共和大学への入学を第一希望（専願）とする方とします。各学部各高校原則1名です（ご相談ください）。

### <地域創生奨学金制度：各学部各高校1名>

以下の4つの条件に該当する方に対して、学校推薦型選抜（指定校制）において面接をさせていただいた上で、4年間の在学期間中、授業料の半額相当を支給します。（在学中の成績により見直すことがあります。）

1) 全体の学習成績の状況（評定平均値）が4.5以上の方。2) 操行が良好であり、4年制大学への進学を希望されている方。3) 事情により経済的支援を必要とする方。4) 将来、地元で働き地域活性化に貢献する意欲の高い方とします。上記の2)～4)につきましては、高等学校のご判断を尊重いたします。

**※この制度でさらに特待生入試などの入試得点が75%以上であれば、総合的に評価の上、授業料全額相当額給付とすることができます。**

- (3) 学校推薦型選抜(公募制)は、高等学校を2021年3月に卒業した方および2022年3月卒業見込みの方で推薦を受けた方、または自己推薦の方とします。ただし、全体の学習成績の状況が3.2以上を出願条件とします。地域創生奨学金制度を希望される方が多数の場合は、こちらを受験することもできます。専願・併願いずれでも出願できます。小論文、面接、推薦内容、全体の学習成績の状況を含む調査書の総合評価により、選抜します。特に優れた方を授業料特待生制度の対象とします。
- (4) 特待生入試は、筆記試験(2科目)と面接による試験です。試験科目は国語を必須とし、英語、数学、簿記・会計、情報関係基礎、家庭基礎の5科目の中から1科目選択による2科目です。学部による科目指定はありません。専願・併願どちらでも結構です。試験成績により一般合格もあります。
- (5) 一般選抜Ⅰ期は、国語・英語の2科目と面接またはプレゼンテーションによる試験です。専願・併願どちらでも結構です。
- (6) 一般選抜Ⅱ期は、国語を必須とし、英語または小論文から1科目を選択する2科目と面接またはプレゼンテーションによる試験です。専願・併願どちらでも結構です。
- (7) 共通テスト利用入試Ⅰ期・Ⅱ期は、共通テストを受験された方が書類のみで受験することのできる試験です。選択教科は、英語か国語を必須とし、英語、地歴・公民、数学の4教科の中から2教科選択となります。英語と国語の2教科選択も可能です。専願・併願どちらでも結構です。
- (8) 本学独自の授業料特待制度による特待生枠を充実させています。入学試験時の成績優秀者を特待生とし、4年間の授業料を全額給付(入試得点85%以上)もしくは半額給付(入試得点75%以上)します。対象となる試験は「学校推薦型選抜(公募制)」、「特待生入試」、「一般選抜Ⅰ期・Ⅱ期」、「共通テスト利用入試Ⅰ期・Ⅱ期」です。各種奨学金には返済義務はありません(在籍中の成績により支給を見直すことがあります)。
- (9) 総合型選抜や学校推薦型選抜(指定校制・公募制)に合格し入学手続きをした方が**特待生入試等に挑戦**する場合、調査書の提出は不要、**入学検定料は無料**です。特待生になれなくても、総合型選抜や学校推薦型選抜の合格は有効です。  
**総合型選抜や学校推薦型選抜で合格され、入学手続きをした方は面接免除となります。**
- (10) 総合型選抜、一般選抜Ⅰ期・Ⅱ期では、面接のかわりに**プレゼンテーションでも**受験できます。プレゼンテーションでの受験を希望される場合は、ご相談ください。
- (11) プレゼンテーションのテーマは自由です。所要時間は15分以内。担当の教員3名に対して10分程度のプレゼンテーションを行い、その後、質疑応答を含む講評の時間が5分程度あります。小論文のテーマは各学部のアドミッション・ポリシーに沿ったものとし、字数は800字から1200字程度です。
- (12) 総合型選抜や学校推薦型選抜(指定校制・公募制)で早めに合格している学生に対して、**入学準備学習の課題**を送付し、提出していただいたうえ添削・返却し学習支援しています。(12月、2月の2回実施。高校にも課題をご連絡いたします。)